

## 【講演者】澤野新一朗氏



写真は時空を超え、被写体と人・空間をつなぐエネルギーの出口であり、入口だと感じています。

ですから自分はその透明なパイプ役になり、一瞬のいのちの輝きを写し撮り伝え、観る人・飾る空間に本来の愛と調和をもたらすことを共通のテーマにしています。

見えない一人一人の心が、この3次元の世界を創造し、また破壊もしていると俯瞰する時、真のアートとはなんだろうか？と、思います。大自然の一部として"今"生かされていることの素晴らしさや勇気を喚起させるものを創り続けていきたいと願っています。

東京都杉並区生まれ。日本大学芸術学部写真学科に在学中、映画「南極物語」のロケスタッフとしてカナダ北極圏に滞在。1986年マラウイ共和国政府観光局に写真部門を設立したことをきっかけにアフリカの撮影を始め、世界最大の野生の花園をライフワークとして長期滞在し取材。

今までに70余ヶ国を訪れ写真展や映像講演で多くの作品を発表。

NHK-BS「グレートネイチャー」をはじめ"神々の花園に魅せられた写真家"として国内外のメディアで紹介されている。

- 米国ハーバード大学図書館
- 東京都写真美術館
- 英国王立園芸協会会員
- サンフランシスコ州立大学図書館
- 日本大学芸術学部所蔵
- 南アフリカ観光局フォトコンテスト審査員

